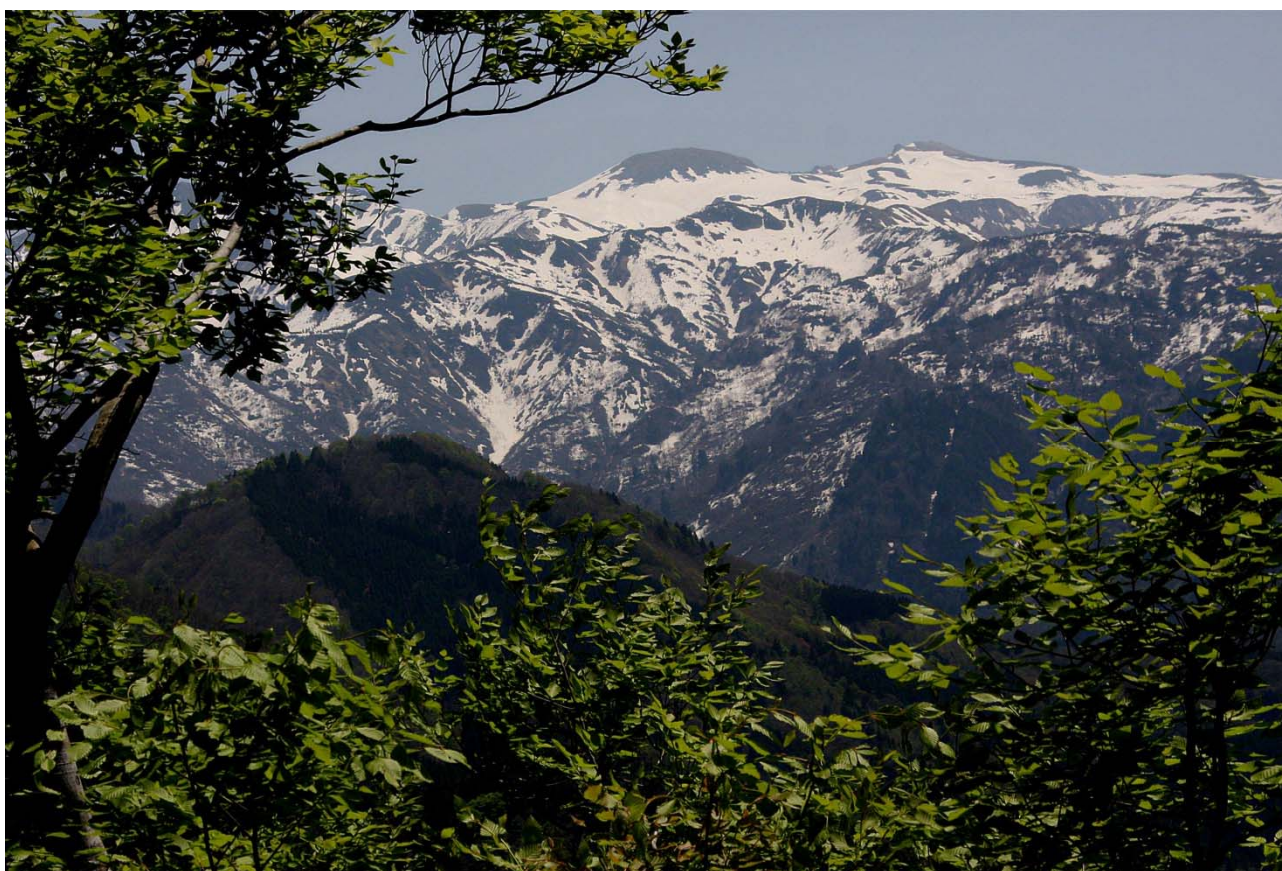


平成 29 年度自然保護委員総会 第 41 回山岳自然保護の集い 白山大会



新緑の白山



公益社団法人

日本山岳・スポーツクライミング協会

- 期日 平成 29 年 9 月 9 日 (土) ~ 10 日 (日)
オプション(白山登山) 平成 29 年 9 月 10 日 (日) ~ 11 日 (月)
- 開催地 石川県 白山市
- 主催 公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会
- 主管 石川県山岳協会
- 後援 白山市 環境省



目次

内容

要項.....	2
白山信仰と文化遺産.....	4
事業報告・計画.....	11
タイムスケジュール.....	18
御前荘 館内配置図.....	19
御前荘 付近図.....	20
参加者名簿.....	21
参考資料.....	24

白山開山 1300 年

富士山、立山とならび「日本三名山」の一つに数えられる白山。

古くから人々が仰ぎ見て、祈りをささげてきた“霊峰”に、越前の僧・泰澄（たいちょう）が初めて登ったのが、養老元年（西暦717年）のことでした。9世紀になると、加賀・越前・美濃（現在の石川県・福井県・岐阜県）のそれぞれに馬場（ばんば）と呼ばれる登拝の拠点ができ、そこからの登山道が「禅定道（ぜんじょうどう）」として整備されるようになりました。

それから白山は、神と仏が共存する修験の場として栄えます。

加賀馬場の白山本宮（現在の白山比咩神社）、越前馬場の平泉寺（現・平泉寺白山神社）、美濃馬場の白山中宮長滝寺（現・長滝白山神社、長瀧寺）の三馬場を拠点に、日本全国に白山信仰が広がって行きました。加賀馬場の白山本宮は、明治以来、全国約3千社の白山神社の総本宮・白山比咩（しらやまひめ）神社として崇敬を集めています。

明治になると、時の政府によって出された神仏分離令により、神と仏、神社と寺院がはっきり分かれることになり、続く廃仏毀釈（はいぶつきしゃく）の風潮の中で、白山にあまた祀られていた仏像は、ことごとく廃されることになりました。千年以上続いた神仏習合の歴史はこのとき終わりを告げましたが、白山麓の村人たちは、山から下すことができた数体の仏像を、現在まで静かに守り続けています。

明治以降の白山は、信仰の山としてだけでなく、美しい自然を楽しむことができる山として、多くの登山者に愛されてきました。高山帯を持つ山としては日本最西端に位置するため、生物分布を研究する上でも重要です。

特に、色とりどりの高山植物が咲く「お花畑」の存在は、白山が“雲上の樂園”とも呼ばれるゆえんとなっています。

このように、深い信仰の歴史を秘め、厳しくも美しい自然の中に私たちを迎えてくれる白山は、平成29年（2017年）、泰澄大師の開山から1300年の時を迎えます。

（白山市ホームページから）

第41回（公社）日本山岳・スポーツクライミング協会 自然保護委員総会
山岳自然保護の集い 白山大会

*目的

この集いは、平素の山岳自然保護の活動に資するため、それぞれの地域における山岳自然保護に関する活動発表や討議とともに、情報交流を行い、山岳自然保護に対する認識を再確認することを目的に開催します。

*大会のテーマ

“悠久の歴史を守り続ける白山文化に学ぶ”

要項

1. 期 日 平成29年9月9日（土）～10日（日）
オプション 平成29年9月10日（日）～11日（月）
2. 会 場（及び宿舎）
白峰温泉 御前荘（会場：白山国立公園センター、宿舎：宿泊棟）
〒151-0052 石川県白山市白峰ノ38
TEL 076-259-2339（フリーダイヤル 120-461893） FAX 076-768-2439
HP <http://www.hakusan-nagai.jp/gozensou>
3. 主 催 公益社団法人 日本山岳・スポーツクライミング協会
4. 主 管 石川県山岳協会
5. 後 援 白山市 環境省
6. 日 程（時刻については状況により変更することがあります。）

第1日 9月9日（土）

- ア、受付 12時00分～13時00分
- イ、自然保護委員長会議 12時35分～13時00分
各県の自然保護委員長（代理）の方は時間までにお集まりください。
- ウ、開会式 13時15分～13時45分
- | | | |
|---------|---------------------------------|--------|
| | （司会）石川県山岳協会 | 豊田 由希子 |
| 開会宣言 | 石川県山岳協会 理事長 | 能村 輝夫 |
| 主催者挨拶 | 公社）日本山岳・スポーツクライミング協会
副会長 | 伊藤 克己 |
| 主管代表挨拶 | 公社）日本山岳・スポーツクライミング協会
自然保護委員長 | 松隈 豊 |
| 開催地協会挨拶 | 石川県山岳協会 会長 | 高田 和彦 |
| 来賓挨拶 | 白山市長 | 山田 憲昭 |
| 閉式の言葉 | 石川県山岳協会 自然保護委員長 | 米田 正明 |
- エ、基調講演 13時50分～14時45分
- | | | |
|----------------|-------------|-------|
| 講師紹介 | 石川県山岳協会 理事長 | 能村 輝夫 |
| 講演 「白山信仰と文化遺産」 | 石川県山岳協会 副会長 | 石森 長博 |
- オ、総会議事 15時00分～17時45分

	議長（兼司会）	常任委員※	小高 令子
	書記	常任委員※	田上 正敏
常任委員会業務報告	自然保護副委員長※		堀江 伸子
参加団体活動報告	各団体（発表持ち時間3分/都府県）		
大会テーマの説明	石川県山岳協会 自然保護副委員長		前田 健進
次期開催地について			
その他			

※印肩書は公社）日本山岳・スポーツクライミング協会自然保護委員会を省略にて示す。

カ、 閉会の挨拶	石川県山岳協会 自然保護委員長	米田 正明
キ、 事務連絡	石川県山岳協会 自然保護副委員長	前田 健進

ク、交流懇親会 18時30分～21時00分

（次第）

司会進行	石川県山岳協会 理事長	能村 輝夫
挨拶	石川県山岳協会 会長	高田 和彦
乾杯	石川県山岳協会 副会長	石森 長博
中締め	石川県山岳協会 総務委員長	清水 静治
事務連絡	石川県山岳協会 自然保護副委員長	前田 健進

ケ、就 寝 22時00分（施設内宿泊棟を利用）

第2日 9月10日（日）

ア、朝 食 7時00分～8時00分

2班の参加者は早めに食事願います。

イ、フィールドスタディー（2班に分かれて実施）

- ◆1班 白峰伝統的建造物群保存地区視察等（更に、A班、B班の2班で行動します。）
9:50 出発予定 視察2～3時間（終了・昼食後・解散）

- ※ 公共交通参加者帰途用マイクロバス予定
御前荘発 金沢駅方面（所要1.5時間） 第1便 14時30分
- ※ 別冊の資料編（頁040から）を合わせご覧ください。

- ◆2班（オプション）白山登山（1泊2日室堂宿泊）（更に、A班、B班の2班で行動します。）
8:20 出発予定（1泊2日室堂宿泊）

- ※ 別冊の資料編（頁042から）を合わせご覧ください。

第3日 9月11日（月）オプション

ア、白山登山 14時00分 御前荘へ帰着予定

- ※ 公共交通参加者帰途用（石川山協役員自家用車を予定）
御前荘発 金沢駅方面（所要1.5時間） 第1便 15時15分
- ※ 別冊の資料編（頁042）を合わせご覧ください。

白山信仰と文化遺産

講師 石森 長博 氏

(プロフィール)

石川県山岳協会副会長

公財)日本体育協会スポーツ指導者上級指導員 (アルパインクライミング)

公社) 日本山岳スポーツクライミング協会自然保護指導員

(財)北国新聞文化センター登山教室講師

鶴来山岳会会長や山岳会会員として 50 数年間、山歩きを続けています。

1970 年岩手国体の山岳競技に選手として参加また山岳協会理事として山岳競技に携わり、京都や北海道での国体山岳競技審判員を経て 1991 年地元石川国体では競技運営責任者として活躍その後東京勤務を機に自然の山を会場とする協議から次第に離れ、山の文化を探求する道に入札日本山岳修験(しゅげん)学会に入会して修験道の歴史や痕跡を辿る山歩きを続けた出羽三山では山伏修行も体験している。山岳信仰の探訪をフィールドワークとして全国を駆け巡り、昨年の山歩きは 60 回を数える。



白山開山1300年 を祝う

奈良時代初めの養老元年(717)、越前の僧泰澄大師が白山に登って以来、本年(2017)は1300年目の節目を迎える。

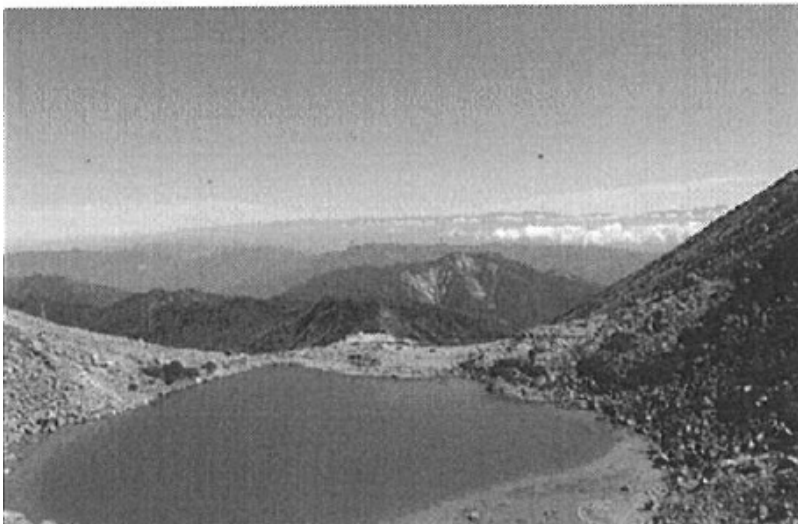
白山開山前後の歴史

飛鳥時代 (538・552)	仏教公伝
飛鳥時代 白鳳十一年(682)	秦澄大師生誕 6月11日
奈良時代 和銅五年(712)	『古事記』成立
奈良時代 養老元年(717)	秦澄大師 白山開山(36歳)
奈良時代 養老四年(720)	『日本書紀』成立
奈良時代 神護景雲元年(767)	秦澄大師 遷化(86歳) 3月18日
奈良時代 延暦七年(788)	伝教大師最澄 比叡山延暦寺開創
平安時代 弘仁七年(816)	弘法大師空海 高野山金剛峰寺開創
平安時代 天長九年(832)	美濃・越前・加賀の三禅定道開かれる
平安時代 天徳二年(957)	『秦澄和尚傳記』原本 (所在不明)
鎌倉時代 正中二年(1325)	『秦澄和尚傳記』書写本 (神奈川文庫)

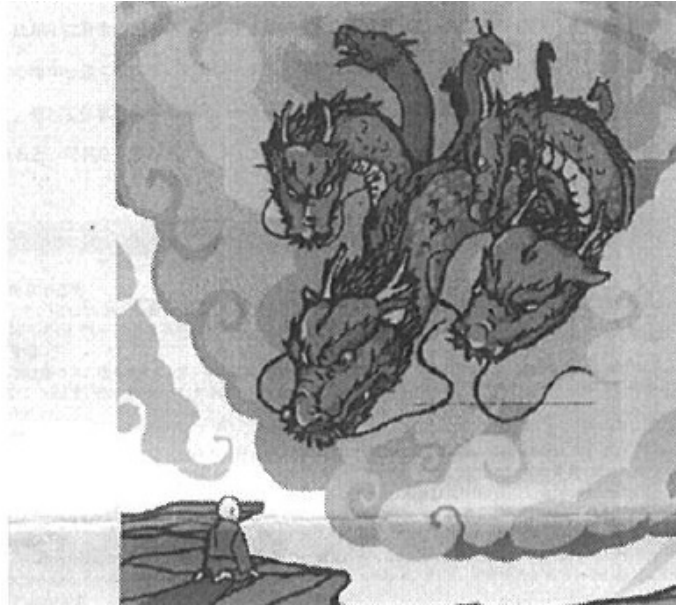
白山の聖地・転法輪窟



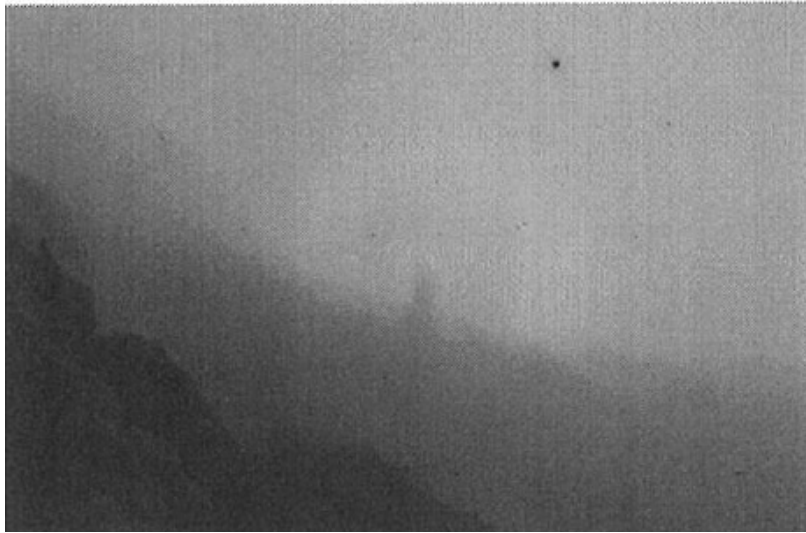
白山山頂 翠ヶ池



翠ヶ池から恐ろしい九頭龍が出現



御来迎(ブロッケン現象)



	大 汝 峰	御 前 峰	別 山
本地仏	阿弥陀如来	十一面観世音菩薩	聖観世音菩薩
神 様	大己貴尊	伊弉冉尊	小白山別山大行事(大山祇命)



白山妙理大権現

我が国古来の神々は、仏や菩薩が衆生を救済するために、化身した仮(権)の姿であると説く

「本地垂迹」の思想が広まり、
本来の姿(本地仏)である「十一面観世音菩薩」が、「伊弉冉尊」という女神の姿をして仮(権)に現れたとされる神仏混淆(神仏習合)の山岳信仰に基づいている。



神仏分離 → 廃仏毀釈

明治新政府より「神仏判然令」が公布される。

奈良時代から続いていた神仏習合が禁止され、神道(神様)と仏教(仏・菩薩)、神社(神主)と寺院(僧侶)が区別された。

白山の信仰形態は神社となり、仏像や仏具は廃棄させられた。

神祇官の目を逃れて隔離した仏像が下山仏として残されている。

美濃馬場	白山中宮長滝寺	⇒	長滝白山神社・長滝寺
越前馬場	白山中宮平泉寺	⇒	平泉寺白山神社
加賀馬場	白山本宮白山寺	⇒	白山比咩神社

白山御本地仏

白山本地堂



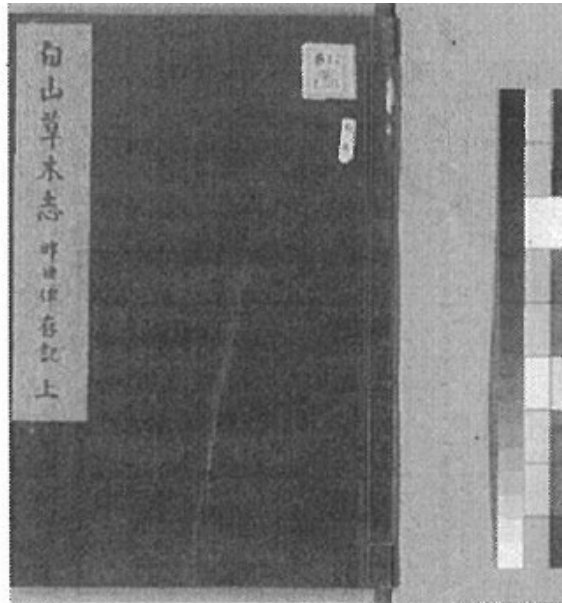
山名を冠した高山植物名(和名)

- ① 伊吹山 22種
イブキトラノオ・イブキジャコウソウ
- ② 富士山 19種
フジアザミ・フジハタザオ
- ③ 白山 18種
ハクサンコザクラ・ハクサンイチゲ
- ④ 箱根 16種
ハコネトリカブト・ハコネギク
- ⑤ 日光 15種
ニッコウキスゲ・シラネアオイ



白山草木志

畔田伴存記 上



白山草木志目録

白山草木志上目録

草部

白山草香 白山草餅 頭陀菜種 昇魁 玉環
白山秋實 花筒 蔞菜蘆 山百條蓋 重慶丸
葛 岩秋冬 白山人參 土芥人參 當帰 腎丸
木部 桔梗 龍胆 白山樺神 水葦草 雪模
保 黒草 〱ベニシニク 櫻川 金梅草 銀梅
草 黒百合 車百合 白山草 一徳金梅草 誘
共部 白山蛇毒 秋牙 深山田芥 翠芥 元
葉 山波室 土葉黄連 葎竹 白山刀宗玉 黄

石川県白山自然保護センターの普及誌
『はくさん』 第44巻第2号 2016.10.31発行

『白山草木志』に記された高山植物・・・と題して、所長の
柁典雅さんが、草木志に掲載されている白山の植物名につ
いて考察されている。

『白山草木志』の著者は、紀州藩士の畔田伴存(1792
-1859)という漢方の生薬などを研究する本草学者(植物
学者)。江戸後期の文政五(1822)年、白山に登り59種の
植物を観察し、各々の特徴を記述されている。

今日の植物名(和名)と比定できる種類と、疑問が残るもの
や比定が困難なものもある。

『白山草木志』の高山植物(一例)

- ・白山櫻草 ハクサンコザクラ
- ・鍛梅草 ハクサンイチゲ
- ・白山敗将醬 ハクサンオミナエシ
- ・櫻川 (風路草) ハクサンフウロ
- ・御前立花 ゴゼンタチバナ
- ・白山刀干期 チングルマ
- ・蒜藜蘆 コハイケイソウ (けんりろ?)
- ・拳参 イブキトラノオ (葉草・けんじん)
- ・雪模様 ミヤマダイモンジソウ

まとめ 自然保護とは

自然保護とは、人間が生存する自然環境の保全を図り、保護することをいう。

ところが自然保護の認識とは裏腹に、自然破壊が進行している現状にある。地球の温暖化など自然を破壊する要因の役割を演じているのが人間ではなかろうか。

日山協が提起する山の自然保護は、特定の動植物や生態系の景観に目を向けがちに思う。

自然界における人間社会の貴重な文化遺産や歴史との調和を図り、視野を広めた自然環境を保全することが肝要と考える。

ご清聴ありがとうございました



事業報告・計画

自 28-9-1 ～至 29-8-31

平成 28-29 年度事業報告

年月日	事業名	備考
28. 10. 2	H28 年度第六回自然保護常任委員会	イ) 第 40 回自然保護委員総会について ロ) 第 5 回自然保護指導研修会交流会開催について ハ) 関東地区自然保護湖流会実施について
28. 10. 20	H28 年度第七回自然保護常任委員会	イ) 第 17 回ライチョウ会議報告 ロ) 第 5 回関東地区自然保護交流会実施報告 ハ) 自然保護指導員研修会実施について
28. 11. 17	H28 年度第八回自然保護常任委員会	イ) 第 40 回自然保護委員総会報告・まとめについて ロ) 第 40 回自然保護委員総会での提案の取扱いについて 1) 自然保護指導員のウェアやグッズについて 2) 携帯トイレ・トイレゴミ持ち帰りの普及推進について ハ) 自然保護指導員登録受付について ニ) 自然保護委員会プロジェクトについて ホ) 出前講座の実施について
28. 12. 5	H28 年度第九回自然保護常任委員会	イ) 第 7 回自然保護指導員研修会 ロ) JOC スポーツ環境委員会出席について ハ) 山岳団体自然環境連絡会環境省打ち合わせ 二) 山岳団体自然環境連絡会 ホ) キルギス山岳協会 丹沢公衆トイレ調査
29. 1. 16	H28 年度第十回自然保護常任委員会	イ) キルギス山岳協会丹沢トイレ調査報告 ロ) キルギス山岳協会 トイレ打ち合わせ ハ) 来年度事業計画について ニ) 携帯トイレ・トイレゴミ持ち帰りの普及推進について ホ) 自然保護指導員のウェアやグッズについて ヘ) 自然保護委員会プロジェクトについて ト) 自然保護指導員養成テキストについて チ) 出前講座の実施について
29. 2. 16	H28 年度第十一回自然保護常任委員会	イ) 41 回委員総会開催について石川山協会長との面談 ロ) 山岳団体自然環境連絡会主催山岳自然セミナーについて ハ) 予算ヒヤリング 二) キルギス・トイレ設置プロジェクト中止の報告 ホ) 長山協・山のセミナー参加報告 ヘ) 環境省自然環境局長表彰功労者候補について
29. 3. 17	H28 年度第十二回自然保護常任委員会	イ) 常任研修会の計画について ロ) 携帯トイレ・トイレゴミ持ち帰りパンフ発行計画について ハ) 日山協自然保護委員総会石川県大会について ニ) 自然保護委員の用品について

年月日	事業名	備考
		ホ) 自然保護委員会プロジェクトについて ヘ) 自然保護指導員養成テキスト発行について ト) 出前講座の実施について
29. 4. 20	H29 年度第一回自然保護常任委員会	イ) 山岳団体自然環境連絡会幹事団体となる ロ) 自然保護指導員養成出前講座について ハ) タカラハーモニストファン্ড応募について ニ) 環境省自然公園指導員活動状況報告書提出について ホ) 環境省自然公園指導員功労者表彰候補推薦(2名) ヘ) 次期常任委員の就任について ト) 山岳団体自然環境連絡会への派遣増員について チ) 自然保護指導員の登録管理について 事務の蒲池さんのサポート必要→岩崎・猪狩 リ) 常任研修会野開催計画について ヌ) トイレパンフレット制作について ル) 自然保護委員総会石川県大会について オ) 自然保護委員の用品の更新について ワ) 自然保護指導員養成テキスト1. 4版について カ) 阿里山アジア自然保護交流会について
29. 5. 19	H29 年度第二回自然保護常任委員会	イ) 常任研修会について ロ) トイレパンフレット発行について ハ) 日山協自然保護委員総会石川県大会について ニ) 自然保護委員の用品の更新について ホ) 阿里山アジア自然保護交流会(仮題)平成29年11月下旬 訪台
29. 6. 17	H29 年度第三回自然保護常任委員会	イ) 日山協自然保護委員総会石川県大会について ロ) 自然保護指導員登録証発行基準について ハ) 指導員ワッペンについて ニ) 阿里山アジア自然保護交流会参加について ホ) 奥多摩小屋トイレ研修について
29. 7. 20	H29 年度第四回自然保護常任委員会	イ) 自然保護委員総会白山大会について ハ) ワッペンの設置方法のガイドライン ニ) トイレパンフの配布について ヘ) 阿里山アジア自然保護交流会参加申込み ト) 関東地区自然保護交流会開催計画について
29. 8. 17	H29 年度第五回自然保護常任委員会	イ) 平成30-31年度環境省自然公園指導員の候補者推薦について(環境省より依頼) ロ) 山岳団体自然環境連会(7月21日)の報告堀江 別紙参照(松隈・廣田・堀江 出席) ハ) 日山協自然保護委員総会白山大会について ニ) 環境省自然公園指導員功労者表彰確定 ホ) 関東地区自然保護交流会開催について ヘ) 次期環境省自然公園指導員の補充について
28. 9. 26	山岳団体自然環境連絡会	・第一回山岳自然セミナー計画について
28. 11. 28	山岳団体自然環境連絡会	・第一回山岳自然セミナー計画について
28. 12. 26	山岳団体自然環境連絡会	・第一回山岳自然セミナー計画について ・会則制定について
29. 1. 22	山岳団体自然環境連絡会	・第一回山岳自然セミナー計画について
29. 2. 24	山岳団体自然環境連絡会	・第一回山岳自然セミナー計画について
29. 3. 24	山岳団体自然環境連絡会	・第一回山岳自然セミナー計画について

年月日	事業名	備考
		・幹事団体労山から日山協へ引き継ぐ
29. 4. 27	山岳団体自然環境連絡会	・「鹿食害の全国規模アピール集会（仮称）」シンポ開催について
29. 5. 29	山岳団体自然環境連絡会	・「鹿食害の全国規模アピール集会（仮称）」シンポ開催について ・山の野生鳥獣目撃レポートの進捗状況
29. 6. 22	山岳団体自然環境連絡会	・阿里山プロジェクトについて
29. 7. 21	山岳団体自然環境連絡会	・静岡県内のリニア新幹線工事について ・第2回山岳自然セミナーに関して
29. 8. 21	山岳団体自然環境連絡会	・第2回山岳自然セミナーに関して ・野生鳥獣との付き合い方
28. 9. 3～4	第40回自然保護委員総会	・東京・オリンピック記念青少年総合センター ・21加盟団体から74名の参加 ・実行委員会主管（常任委員など）
28. 10. 2～3	第五回関東地区山岳連盟自然保護交流会	・千葉県南房総市岩井海岸 ・千葉岳連主管 8都県 47名参加 ・鋸山にて崖地で生育する希少植物を学習
28. 11. 7	第六回自然保護指導員研修会	・オリンピック記念青少年総合センターにて、51名が参加 ・基調講演 東京農業大学助教 栗田和弥氏による巻機山の自然復元について
29. 3. 25	第二回自然保護指導員養成出前講座	・栃木岳連参加20名、於：宇都宮市内
29. 6. 16～17	平成29年度常任委員研修会	・神奈川県21世紀の森 講演：とよだ時氏「山岳と天狗伝承について」 ・神奈川岳連が主管にて、32名が参加
28. 10. 16	第17回ライチョウ会議長野大会	・日山協参加2名、於：大町
29. 3. 11	山岳団体自然環境連絡会主催 第1回山岳自然セミナー	・参加110名、於：オリンピック記念青少年総合センター

平成29年度事業計画

（活動方針）登山活動の山岳自然に対する負荷を自覚し、山岳自然を美しく保ち、後世に伝えるために山岳自然保護活動を行う。また、山岳自然保護活動の推進及び他団体と連携した環境保全活動を推進する。

自然保護指導員制度の普及推進を図り、且つ、自然保護指導員組織の充実強化と活動の促進を図る。

山岳環境保全事業として

ア) 研修及び研究会

①第41回自然保護委員総会

9/9（土）～10（日） 石川県白山市

⑤ 常任委員研修会

6/17（土）～18（日） 神奈川県足柄市（二十一世紀の森）

③第7回自然保護指導員研修会

1/21（日） 国立オリンピック記念青少年総合センター

④第7回関東ブロック自然保護交流会

10/21（土）～22（日） 奥多摩・雲取山

イ) 自然保護の啓発

①自然保護指導員制度の推進

- ②全国環境月間(6月)の実施
- ③環境省・自然公園指導員制度への協力
 - ・自然公園指導員の推薦
- ④山岳自然保護関係団体と連携して自然保護委員会活動の推進
 - ・山岳団体自然環境連絡会への参加
 - ・山の野生鳥獣目撃レポート・プロジェクトの推進
 - ・各種環境保護事業の後援と派遣
- ⑤日本オリンピック委員会主催「スポーツと環境会議」への参加・協力

継続中のその他の活動

イ) 第40回総会を踏まえた活動展開

昨年度の第40回委員総会の中で行われた分科会の提言を受け、次の3件について制定を進めた。即ち、1) トイレパンフ、2) 自然保護指導員テキスト、3) JMSCA自然保護ワッペン。各内容について以下に示す。

1) トイレパンフレット

トイレパンフレットは、第40回総会の第一分科会では討議課題の「オーバークースとトイレ問題、入山料等について」のうち、山岳トイレの利用者面から見た課題として、トイレゴミやトイレ利用料など最近のトイレ事情への理解を促し、利用者意識の啓発を図るべきとの提言を受け、制作を行ったもの。

人間味あふれる人物イラストで定評のとよだ時氏の挿絵を依頼するなどし、より親しみやすいパンフレットを目指した。

5,000部製作し、公式HPを通して配布協力を呼び掛けている。

2) 自然保護指導員テキスト

第三分科会では討議課題の「自然保護指導員の活動について」の討議の中で、資質向上に向け、研修会など動機づけ策が必要であるとの提言を受けて、指導員として基本的な知識の共有化を目指して、自然保護指導員テキストの制定を行った。テキストは、第六回自然保護指導員研修会(H28.11.7開催)や第二回自然保護指導員養成出前講座(H29.3.25開催)でトライアル利用を行い、内容の洗練化を行った。



掲載内容の目次

第一章 自然保護指導員制度

- 1.1 山岳団体としての環境活動
- 1.2 日山協の山岳自然保護活動
- 1.4 自然保護指導員規程
- 1.5 自然保護委員会の活動
- 1.6 指導員の役割例

第二章 法令と活動地域

- 2.1 関係法令
- 2.2 法令指定地域
 - 2.2.1 自然環境保全法の指定地域
 - 2.2.2 自然公園法の指定地域
 - 2.2.3 鳥獣保護管理法に関係する地域
 - 2.2.4 種の保存法に関係する地域

2.2.5 自然公園とそれぞれの指定地

2.3 森林について

- 2.3.1 森林の機能
- 2.3.2 保安林
- 2.3.3 保護林

第三章 自然地域の利用

3.1 自然公園の利用

- 3.2 登山人口
- 3.2 山の認識

3.3 山岳自然の課題

第四章 山でのルールとマナー

- 4.1 憲章
- 4.2 カントリーコード
- 4.3 ルール

第五章 具体的な対応例

- 山菜狩り(採取時)について
- 山歩きのルール(装備・道具の使用マナー)

3) JMSCA 自然保護ワッペン

第三分科会では討議課題の「自然保護指導員の活動について」の討議の中で、自然保護指導員御あり方について「顕在化する高齢化」「減少する登録」など差し迫った難関のブレークスルーとして、若手など広い世代に共感をもって山岳自然保護を訴えるシンボライズの一つとして、JMSCA 自然保護ワッペンの提供を始めた。指導員が自ら山岳自然保護への協力を訴える広告塔となって活躍することを期待するものです。

平成 29 年 7 月



新 JMSCA 自然保護ワッペンの提供開始について

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会
自然保護委員会

新 JMSCA ワッペン（以下ワッペンと記す）は、在来の腕章に代わるものとして使用いただきます。要は「JMSCA 山岳の自然保護指導員の徽章」としての意味を持ちます。自然保護の活動をされる場合には、登録証を合わせて携帯願います。

ワッペンの適用は、クロージング（シャツなど）やザックに装着して行います。

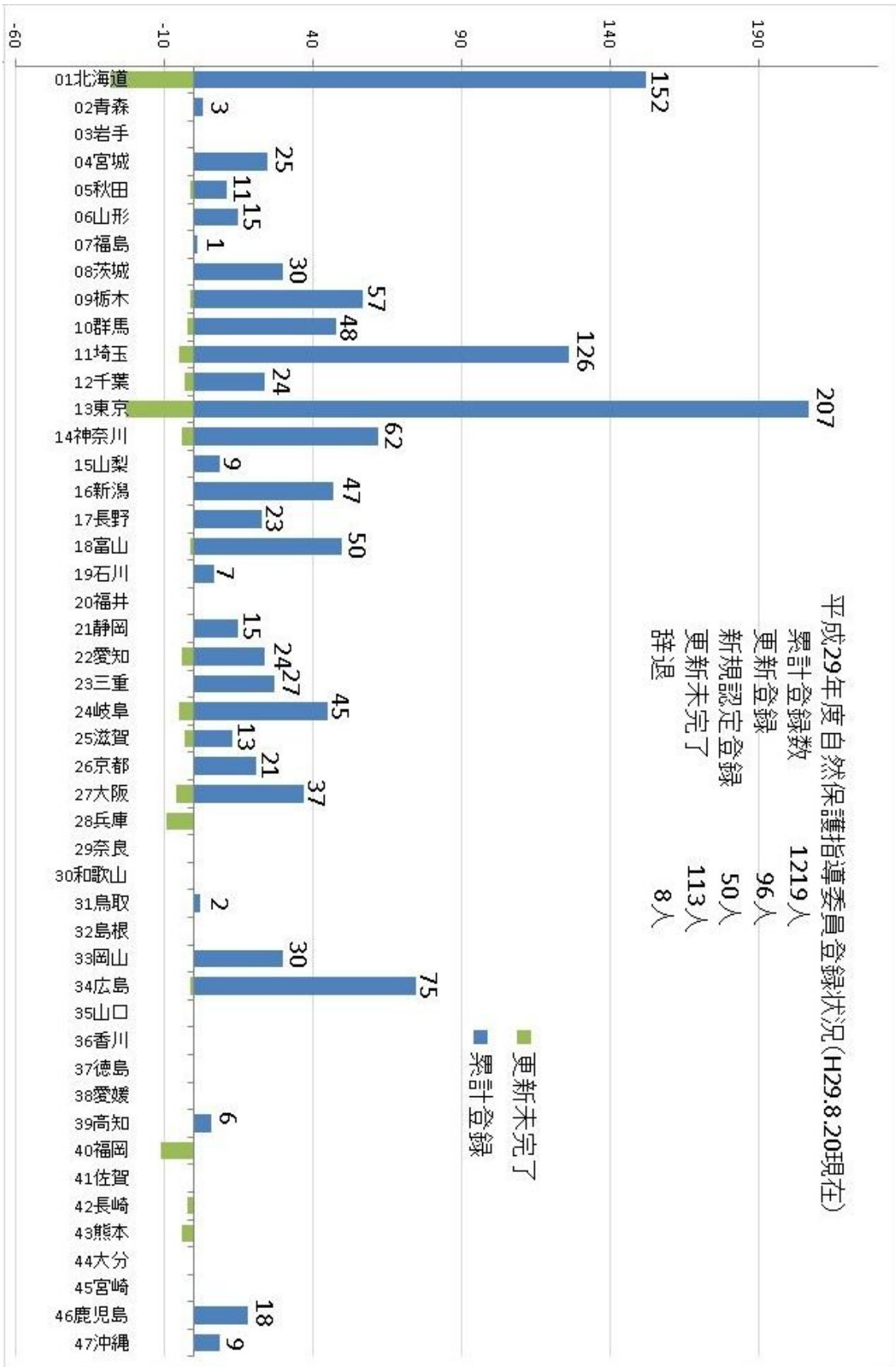
クロージング（シャツ）に装着する場合には胸ポケット部分に、ザックに取り付ける場合には雨蓋分の路側面近くの部分に装着をします。以下に、装着例画像を示します。



ロ) 自然保護指導員登録

日本山岳協会の独自の制度として行われてきた制度ではあるが、登録数が数年間連続して減少傾向にある。日山協自然保護指導員制度の意義を考え、制度の増進が望まれる。
平成 29 年 8 月までの登録状況グラフを次ページに掲載します。

自然保護指導員登録状況



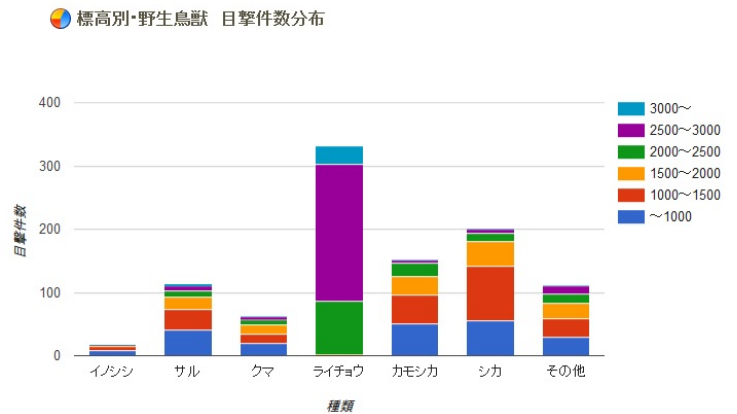
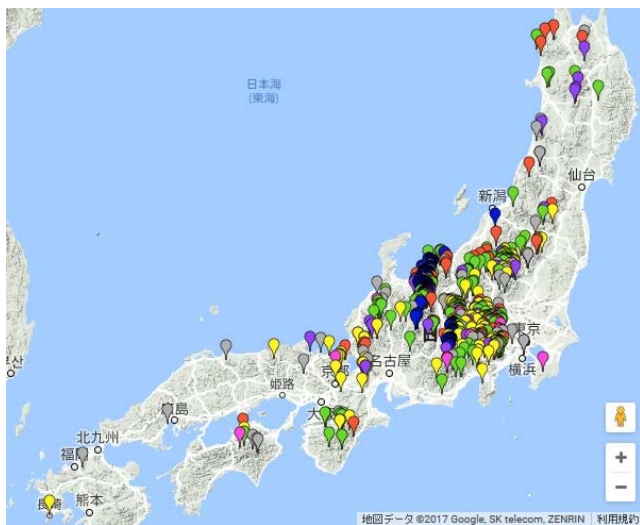
ハ) 環境省自然公園指導員

環境省の自然公園指導員の推薦団体である。現在、平成27年度から2年間の任期で30名が登録中。平成29年度自然公園功労者として、2名の自然環境局長表彰を受けた。

二) 山の野生鳥獣目撃レポート

山の野生鳥獣目撃レポートは、日山協の公式ホームページのサーバーを利用して、インターネットで目撃情報の収集と、収集結果の記事掲載を行うもので、山岳団体自然環境連絡会と連携した活動である。平成21年4月1日から実施を行っている。

棲家が山であり、多くの人を知っていて、大きくて見つけやすいことなどから、シカ、ライチョウ、クマ、カモシカを主な対象として、インターネットを利用した目撃情報を収集しているものです。平成27年度に作成・配布したPR用リーフレットが奏功した様子で、29年度中には目撃レポートの件数が1,000件を超えた。



二) 山岳団体自然環境連絡会

公社) 日本山岳協会のほか、全国勤労者山岳連盟、公社) 日本山岳会、公社) 東京都山岳連盟、HAT-J、山はみんなの宝クラブ、公社) 山岳ガイド協会の自然保護部門が情報交流などを目的に、概ね月1度の会合を行ってきた。この連絡会では、環境省(自然公園課)との懇談会などの開催にて、対外的な意見交流も行った。日山協自然保護常任委員から4名がこの連絡会に参加している。

平成29年3月11日、シカの獣害問題を扱ったシンポジウム(第一回山岳自然セミナー)を協働で開催し、100名を超える参加を集めた。このセミナーでは、ニホンジカの急激な増加とその生息域が高山・亜高山帯にまで拡大していることに対し、鳥獣保護管理・林業者・ハンター・山岳関係者などの各分野から現状と取り組み状況の報告を聴取し、意見交流を行った。平成30年3月にも、第二回を計画中です。



H29. 3. 11 シンポジウム開催の様子

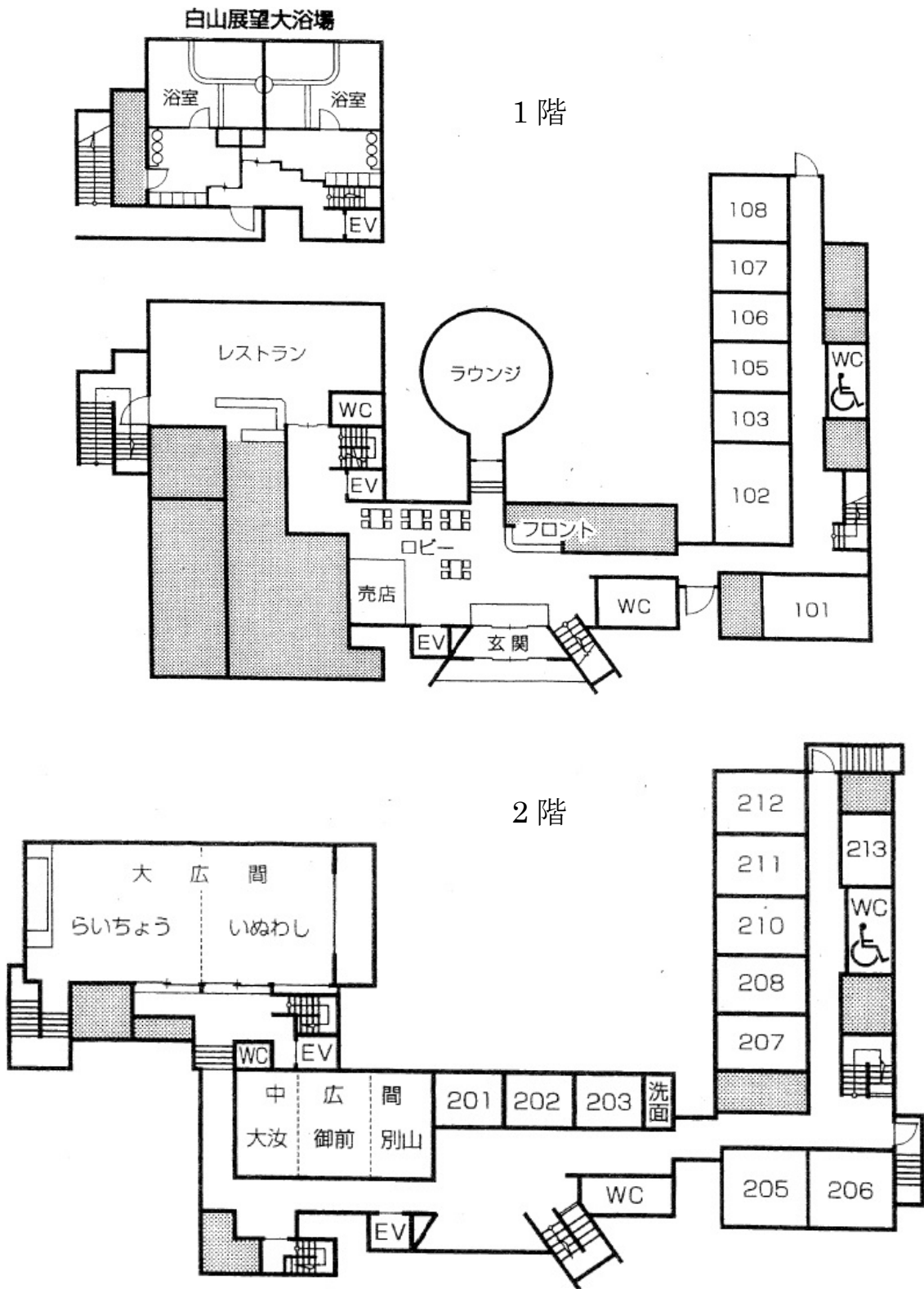
タイムスケジュール

	9月9日(土)	9月10日(日)	9月11日(月) オプション 2班 (白山登山)
午前	/	起床 6:00	起床 4:00
		朝食 7:00~8:00 1班 フィールドスタディー (白山の伝統文化)	御前峰(御来光) 5:20 散策 お池めぐり(約40分) 朝食 6:30~7:30
午後	受付開始 12:00 (御前荘)	御前荘出発 9:00 白峰伝統的建造物群 保存地区視察等 白山砂防科学館 解散 14:00 (御前荘)	室堂センター 出発 8:00 別当出合
	委員長会議 12:35~13:00 (御前荘)		バスで御前荘 御前荘着 14:00
	基調講演 13:15~14:45 (白山国立公園センター)	(オプション) 2班 フィールドスタディー (A・B班に別れ白山登山)	御前荘 解散 15:00
	総会・活動報告 15:00~17:45 (白山国立公園センター)	御前荘出発(バス) 8:30 別当出合(登山開始) 砂防新道コース 白山室堂センター 宿泊	
	夕食 18:30~21:00 (懇親会)	※御前荘発時刻は変更する場合 が有りますのでご承知下さい。	
	就寝 22:00 (御前荘)		

事情により変更することがあります。

御前荘 館内配置図

越前荘 館内配置図



御前荘 付近図



参加者名簿

NO	氏名	記事		室番号	エクスカーション
1	山田 憲昭	白山市長		来賓	—
2	伊藤 克己	公社) 日本山岳・スポーツクライミング協会副会長			102
3	仙石 富英	公社) 日本山岳・スポーツクライミング協会常務理事			102
4	高田 和彦	石川県山岳協会会長		実行委員長	102
5	村田 信親	石川県山岳協会名誉会長		大会参与	—
6	太茂野 直利	石川県山岳協会副会長		大会参与	—
7	永井 武司	石川県山岳協会副会長		大会参与	—
8	石森 長博	石川県山岳協会副会長		講師	102
9	本郷 潤一	富山県山岳連盟			212
10	藤井 久一	富山県山岳連盟	○		212
11	栗木 洋明	愛知県山岳連盟			211
12	今井 茂子	埼玉県山岳連盟			103
13	吉岡 登規子	埼玉県山岳連盟			103
14	外山 美智子	埼玉県山岳連盟			103
15	吉田 秀夫	埼玉県山岳連盟			208
16	相澤 重夫	埼玉県山岳連盟副会長			208
17	柴崎 英保	埼玉県山岳連盟			208
18	小暮 慶司	埼玉県山岳連盟			208
19	若狭 千江子	埼玉県山岳連盟			105
20	福田 モトヨ	埼玉県山岳連盟			105
21	阿部 和子	埼玉県山岳連盟			105
22	尾市 佐保子	埼玉県山岳連盟			105
23	山本 憲彦	京都府山岳連盟	○		212
24	増尾 翼	京都府山岳連盟			212
25	西田 和美	京都府山岳連盟			108
26	高取 和彦	山形県山岳連盟	○		201
27	橋川 弘子	三重県山岳連盟			108
28	門屋 峰雄	岐阜県山岳連盟	○		202
29	岡本 隆	群馬県山岳連盟			212
30	高木 均	群馬県山岳連盟			212
31	高木 薫	群馬県山岳連盟			101
32	伊藤 直	新潟県山岳協会	○		205
33	井口 礼子	新潟県山岳協会			105
34	遠藤 俊一	新潟県山岳協会			205
35	日野 幸次郎	兵庫県山岳連盟			202
36	三川 朝光	神奈川県山岳連盟			210
37	手塚 明子	栃木県山岳連盟			106
38	奈良 忠男	栃木県山岳連盟			206
39	藤島 邦夫	栃木県山岳連盟			206
40	藤川 敏光	徳島県山岳連盟			205
41	小田 里子	一社) 広島県山岳連盟	○		101

NO	氏名	記事	室番号	エクスカーション
42	福永 やす子	一社) 広島県山岳連盟	101	2班 白山登山
43	磯野 澄也	山梨県山岳連盟	205	2班 白山登山
44	中川 富美子	山梨県山岳連盟	106	2班 白山登山
45	中澤 智子	山梨県山岳連盟	106	2班 白山登山
46	稗田 守	長崎県山岳連盟	201	
47	北 義章	和歌山県山岳連盟	203	2班 白山登山
48	下内 幸一	鹿児島県山岳・スポーツクライミング連盟	203	2班 白山登山
49	津嶋 勝洋	岡山県山岳連盟	201	1班
50	松塚 明則	鳥取県山岳連盟	210	2班 白山登山
51	豊田 稔	静岡県山岳連盟	213	1班
52	麻田 正博	高知県山岳連盟	203	2班 白山登山
53	井上 佑	山口県山岳連盟	202	1班
54	石井 弘好	公社) 東京都山岳連盟	211	2班 白山登山
55	伊藤 篤子	神奈川県山岳連盟	103	2班 白山登山
56	手塚 幸子	栃木県山岳連盟	106	1班
57	細井 寧	栃木県山岳連盟	106	1班
58	大濃 孝尚	福井県山岳連盟	213	1班
59	高橋 邦夫	栃木県山岳連盟	206	1班
60	斉藤 豪	一社) 大阪府山岳連盟	213	1班
61	小林 陽祐	岡山県山岳連盟		1班
62	濱本 幸弘	岡山県山岳連盟		1班
62	森 一志	石川県山岳協会	—	
63	小嵐 計寿	石川県山岳協会	—	
64	長 まり子	石川県山岳協会	—	
65	坂田 高雄	石川県山岳協会	—	
66	松本 健祐	石川県山岳協会	別棟	1班

※記事欄○印は、公社) 日本山岳・スポーツクライミング協会自然保護員を示す

※エクスカーションの1班は10日にての白峰地区文化財の探訪、同2班は10日～11日にて白山登山(オプション)となります。

スタッフ(石川県山岳協会)名簿

NO	氏名	記事	宿泊室	備考
1	高田 和彦	会長	102	
2	石森 長博	副会長	102	講師
3	能村 輝夫	理事長	213	
4	清水 静治	事務局長	別棟	
5	米田 正明	自然保護委員長	213	全般
6	前田 健進	自然保護副委員長	別棟	JMSCA 窓口担当
7	山口 春美		101	受付・白山登山(会計)
8	松本 一之		別棟	設営担当(会計)
8	宇都宮 里志		—	設営担当(HP)
10	豊田 由希子		101	受付・
11	松代 正範		別棟	設営・白山登山(CL)

NO	氏名	記事	宿泊室	備考
12	林 昭男		別棟	設営・白山登山(L)
13	森田 信彦		別棟	案内・白山登山(L)
14	森田 佳美		—	白山登山(救護・10日朝合流)
15	上野 義一		別棟	案内(金沢駅)・白山登山(L)
16	安田 健二		別棟	設営・
17	村本 和央		別棟	設営・誘導
18	小村 龍男		別棟	設営・誘導
19	松代 喜恵子		101	受付・
20	中山 登喜子		101	受付・
21	中田 豊美		101	受付・案内
22	高野 宏子		101	受付・案内
23	小川 義弘		別棟	設営・誘導

スタッフ（日山協自然保護常任委員）名簿

NO	氏名	記事	宿泊室	エクスカーション
1	松 隈 豊	委員長 (神奈川県山岳連盟)	213	2班 白山登山
2	西山 常芳	副委員長 (公社) 東京都山岳連盟)	—	
3	堀江 伸子	副委員長 (埼玉県山岳連盟)	103	2班 白山登山
4	小高 令子	常任委員 (公社) 東京都山岳連盟)	108	2班 白山登山
5	岩崎 繁夫	常任委員 (埼玉県山岳連盟)	213	1班
6	小林 貞幸	常任委員 (長野県山岳協会)	211	2班 白山登山
7	猪狩 ノブ	常任委員 (東京都山岳連盟)	108	2班 白山登山
8	紅葉 淳一	常任委員 (神奈川県山岳連盟)	210	2班 白山登山
9	手塚 福寿	常任委員 (栃木県山岳連盟)	206	1班
10	田上 正敏	常任委員 (茨城県山岳連盟)	210	1班
11	濱田 伸	常任委員 (千葉県山岳連盟)	211	1班
12	廣田 博	常任委員 (公社) 東京都山岳連盟)	210	2班 白山登山
13	湯浅 達男	常任委員 (神奈川県山岳連盟)	210	2班 白山登山
14	増田 修	常任委員 (埼玉県山岳連盟)	208	2班 白山登山
15	岡田 博行	常任委員 (公社) 東京都山岳連盟)	211	2班 白山登山

参考資料

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会自然保護委員名簿

自然保護委員	加盟団体名
内藤 美紗雄	北海道山岳連盟
古本 陽子	青森県山岳連盟
山口 吉男	岩手県山岳協会
尾形 憲治	宮城県山岳連盟
藤原 健一	秋田県山岳連盟
高取 和彦	山形県山岳連盟
佐藤 典子	福島県山岳連盟
中沢 隆一	茨城県山岳連盟
手塚 福寿	栃木県山岳連盟
三田 治宣	群馬県山岳連盟
堀江 伸子	埼玉県山岳連盟
濱田 伸	千葉県山岳連盟
岡田 博行	東京都山岳連盟
松隈 豊	神奈川県山岳連盟
磯野 澄也	山梨県山岳連盟
伊藤 直	新潟県山岳協会
小林 貞幸	長野県山岳協会
藤井 久一	富山県山岳連盟
米田 正明	石川県山岳協会
大濃 孝尚	福井県山岳連盟
豊田 稔	静岡県山岳連盟
鈴木 行薫	愛知県山岳連盟
水谷 一也	三重県山岳連盟

自然保護委員	加盟団体名
井上 茂	滋賀県山岳連盟
山本 憲彦	京都府山岳連盟
斉藤 豪	大阪府山岳連盟
吉野 朱美	兵庫県山岳連盟
野田 健司	奈良県山岳連盟
北 義章	和歌山県山岳連盟
松塚 明則	鳥取県山岳協会
三成 敏雄	島根県山岳連盟
津島 勝洋	岡山県山岳連盟
小田 里子	広島県山岳連盟
井上 佑	山口県山岳連盟
武川 秀樹	香川県山岳連盟
後藤田 恵美子	徳島県山岳連盟
梶原 勇機	愛媛県山岳連盟
麻田 正博	高知県山岳連盟
貞 莉 誠	福岡県山岳連盟
國松 和裕	佐賀県山岳連盟
稗田 守	長崎県山岳連盟
豊永 匡彦	熊本県山岳連盟
石川 明德	大分県山岳連盟
佐藤 利治	宮崎県山岳連盟
下内 幸一	鹿児島県山岳連盟
坂口 民子	沖縄県山岳連盟



発行元

公益社団法人日本山岳・スポーツライミング協会

自然保護委員会

〒150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1

岸記念体育会館 4F

TEL 03-3481-2396 FAX 03-3481-2395

HP www.jma-sangaku.or.jp